

## (仮称)相原・小山 地区新設小学校

# 基本設計まとまる

### 街並みと調和した オープンスクール

新しく建設する(仮称)相原・小山地区小学校の完成予想図



### 21年ぶりに 新小学校を建設

本年2月7日には小山センターにおいて、地域の皆様に(仮称)相原・小山地区小学校計画説明会を開催しました。

教育委員会では、人口急増の著しい相原・小山地区土地区画整理事業地内に新しく(仮称)相原・小山地区小学校を建設します。現在、同地域ではマンション・戸建て住宅建設が急増しており、

通学区域としている小山小学校が大規模化するために新設するものです。教育委員会は、この新たな学校づくりに向け

て、2001年5月に小学校校長、指導主事、学校教育部、生涯学習部、防災課職員をメンバーとする(仮称)相原・小山地区小学校新築検討委員会を設け、基本的な考え方や整備方針について検討を重ねてきました。検討委員会では、建物の構造や規模、整備内容等について基本設計を進め、

建設予定地は、京王相模原線多摩境駅から西(相原方面)へ約1kmに位置し、土地の所在は、小山町の相原・小山土地区画整理事業地内で、敷地面積は約16400㎡です。

学校用地は、区画整理事業による整然とした街並みの中にあり、周囲は、道路と地区公園に囲まれ、南と西に、丹沢山系と相模原市橋本周辺の市街地が見晴らせる自然環境に恵まれた場所です。

この豊かな自然環境と新しい街並みに調和し、地域に密着した新しい学校として整備するため、

1 子どもたちが、地域の人とかわり、文化に触れ、学べる、

### 開校は2005年 4月を予定

市立小学校の新設は、1984年に小山田南小学校が開校して以来、21年ぶりになります。なお、校名は、今議会で審議されます。

開かれた学校

2 多様な学習形態に対応し、豊かな教育活動ができる学校

3 人と自然の共存が学べる学校

4 地域防災拠点としての機能を兼ね備えた学校施設

これらの4項目を基本方針として整備することとなりました。

この新設小学校は学童保育クラブと併せて2005年4月の開校を目指しています。

新設小学校は、普通教室棟、特別教室棟、管理諸室棟、体育館棟、学童保育クラブ棟の5棟で構成されます。学校部分は、鉄筋コンクリート構造の2〜4階建て、規模は、延べ床面積約9900㎡です。普通教室は、予備教室6室を含め合計30教室、障がい学級、特別教室、管理諸室、給食室、体育館、屋上設置型プール、防災備蓄倉庫等を保有します。

また、地域に密着した生涯学習の場にも利用できるよう地域開放施設としての利用も考慮した計画がされています。

普通教室棟の基本構造は、2002年4月に統合整備校として完成した木曾境川小学校に続き2校目となるオープン・スクール形式

を採用。これは、単に学校施設が内外に対して開かれた構造になっているだけでなく、児童が自ら学び、考える教育を目指した施設整備の方式です。具体的には、廊下と教室の間仕切りをなくし、通常授業を含め、総合的な学習の時間や少人数学習等、様々な学習方法や学習集団(学年・学級グループ・個人)に対応し、教室内にとどまらない多様な学習スタイルに対応できる整備が予定されています。

教室のサイズは、従来型の8m x 7.5mから8m x 8mに拡大して、新JIS規格の椅子・机の配備に対応します。

この他の施設整備としては、エレベーターや手すり、点字ブロック、段差の解消等、バリアフリーの対策、教材としても活用できる太陽光発電設備、トイレの洗浄や家庭散水に利用する中水(雨水の再利用)設備、ヒートアイランド現象の緩和や二酸化炭素の削減、教材としての屋上緑化(庭園)整備を予定しています。



### 全体配置図

### 位置図

